

明治新聞雑誌文庫 ニューズレター

第六號
令和元年十月三十一日(木)

編集・発行

東京大学大学院法政学政治学研究所
附属近代日本法政史料センター
明治新聞雑誌文庫

〒113-0033
東京都文京区本郷七-3-1
電話 03-5841-1327
FAX 03-5841-0222

年二回発行

URL
<http://www.meiji.j.u-tokyo.ac.jp/>
Mail
lmeiji@j.u-tokyo.ac.jp
Twitter
[@UTokyo_LMeiji](https://twitter.com/UTokyo_LMeiji)

東京大学入学式

総長式辞で文庫に触れる

四月十二日、日本武道館で挙行された平成三十一年度入学式において、五神真総長が明治文庫に言及しました。総長は、式辞の中で図書館の活用について述べ、「世界でも東京大学にしかない貴重な図書館」の一つとして明治新聞雑誌文庫を挙げています。

式辞は「学内広報」一五二一号に掲載されており、東京大学 Web サイトでも見ることが出来ます。

※広報誌「学内広報」

<https://www.u-tokyo.ac.jp/>

[ja/about/public-relations/](https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/public-relations/)

[kouhou.html](#)



令和最初のオープンキャンパス

教育学部図書室と初共催

八月七〜八日、令和最初の東京大学オープンキャンパスが開催され、明治文庫では今年も展示を行いました。今年は大大学院教育学部研究科・教育学部図書室と連携、共催での企画となり、高校生にも馴染み深い「教科書」をテーマに、明治から現代までの教科書や、教科書に掲載された資料など約三〇点を展示しました。

猛暑のなか、二日合わせて二〇〇名ほどが見学に来館され、高校生とその保護者、一般の方など学内外の皆さま

が職員の解説に耳を傾け、熱心に資料をご覧になっていました。また、今年も感想を書く場所を設けたところ、「教科書に載っているものを実物でみる事ができてすごい」「教科書の変化がわかりやすく、おもしろかった」「資料が語る時代背景がよくわかりました」等、多くのコメントが寄せられました。耐震改修工事のための長期休館を控え、現在の館内の様子が見られる最後の展示となりました。

教科書の「本物」みせます！



▲明治文庫玄関前にポスターを展示
▼展示資料を熱心に見る高校生たち



▶撮影のため運び出される海外発行新聞の数々
▼邦字新聞デジタルコレクションもぜひご覧ください



スタンプフォード大学
フーヴァー研究所と連携続く

一昨年度から協力が続くスタンプフォード大学フーヴァー研究所ライブラリー&アーカイブスの「邦字新聞デジタルコレクション」に新たな新聞・雑誌資料を提供しました。先方の学芸員との調査・連携のもと、今回追加される新規資料は七〇タイトル、一〇、〇〇〇コマに及びます。

「学内広報」で明治文庫の

デジタル化資料を紹介

同じく「学内広報」のコラム欄で、東京大学デジタルアーカイブズ構築事業の連載が始まりました。学内の様々な部局でデジタル化された資料の紹介が毎号掲載されます。

このコラムに宮武外骨蒐集資料について文庫職員が執筆しました。一五二六号に掲載されていますので、ぜひご覧ください。また、「東京大学学術資産等アーカイブズポータル」の「電子展示」にもリンクが掲載されています。

※東京大学学術資産等アーカイブズポータル
<https://da.dl.ic.u-tokyo.ac.jp/portal/>

各地で魅せる 広がる明治文庫

青森県立美術館

「子どものための建築と

空間展」に出陳

青森県立美術館の「子どものための建築と空間展」(会期 二〇一九年七月十七日(土)～九月八日(日))に『日本の家庭』臨時増刊号の挿絵を出陳しました(パネル展示)。パナソニック汐留ミュージアムからの巡回展です。

水戸市立博物館

特別展「大正の漫画家

山田みのる」に出陳

水戸市立博物館の特別展「大正の漫画家・山田みのる」(会期 二〇一九年十月二十日(日)～十一月二十四日(日))に『面白倶楽部』を出陳しました。ポスター、チラシのメイン画像に明治文庫出陳資料を採用いただきました。

◀展覧会のポスターメインビジュアルは
当文庫資料(画像提供:水戸市立博物館)



明治文庫館内で撮影協力

NHK「歴史秘話ヒストリア」

「ダークサイドミステリー」

NHK「歴史秘話ヒストリア」(二〇一九年六月二十六日(水)放送)、「ダークサイドミステリー」(二〇一九年六月六日(木)放送)に撮影協力しました。



▲撮影するカメラマン
(歴史秘話ヒストリア)

その他にも国文学研究資料館「明治期出版広告データベース」への画像掲載など多方面に資料が使われました。

来年一月より 明治文庫は長期休館に入ります

耐震改修工事に伴い、下記の期間は休館となります。工事期間中は資料をすべて退避させ、事務室も移転となります。

利用できる資料の詳細や、休館期間中のお問い合わせ先などは、明治新聞雑誌文庫ホームページでご確認ください。

利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご了承ください。

※明治新聞雑誌文庫ホームページ
<http://www.meiji.ju-tokyo.ac.jp/index.html>

次の百年に向かつて 貴重な資料を保存

耐震改修工事に伴う移転に向けて、資料を安全に運ぶことができる保存容器(箱)への収納を進めています。特に新聞はできる限り移転前に収納してしまいたいと、消費税増税前の九月に取り急ぎ作業を行っていただきました。また、今回は劣化したマイクロフィルムの複製も行いました。長期間の保存が可能と言われていたマイクロフィルムですが、



◀新たに中性紙保存箱へ収納された新聞

20年ほど前まで日本の高温多湿な気候で劣化が早まる素材が多く使用されていたため、近年劣化により利用できなくなるフィルムが出てきています。今回、新素材で複製しましたので、痛みにくいマイクロフィルムを保存、閲覧に供することが出来るようになりました。次の百年も貴重な資料を保存していくために、寄付者の皆様のご支援を活用させていただきます。心より御礼申し上げます。



▶保存箱収納前に行う資料クリーニング



【休館期間】

二〇二〇年一月～

二〇二二年夏頃(予定)

休館期間中は、ほぼすべての資料が利用できません。

※一部、デジタル化した資料などは利用できます。

最新情報はサイトをご覧ください



明治新聞
雑誌文庫
休館お知らせ
特設ページ

休館予定 耐震改修工事
東京大学明治新聞雑誌文庫
NEWS (お知らせ)